

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

令和7年1月実施/回答数：28件中28件

事業所名：キッズゆにつく学園

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	96%	4%	0%	・二つのグループに分かれて活動している。 ・十分なスペースの確保が難しい時は、活動内容を工夫したり、安全に活動できるよう行っています
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	・職員数は他のデイに比べると多い
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか (施設内外に階段が多く、肢体不自由児の受け入れができない。椅子式階段昇降機やスロープを取り付ける準備もできていない。)	36%	29%	36%	・必要に応じ環境整備はしているが、バリアフリー化の配慮は行われていない ・肢体不自由児に限らず、子どもが活動しやすい環境を目指す意味でも検討すべき事案だと思います ・現在の通所児童で、肢体不自由児は通所していません。危険なところは職員が適切に配慮しています ・階段の昇降の際に注意している ・バリアフリーではありませんが、子ども達が安全に活動できるよう配慮しています
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか (月1回全体ミーティングでの話し合いを行っている。)	100%	0%	0%	・こまめにミーティングを行い職員に伝えている
	5 保護者等向け評価表を活用することによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか (昨年度の評価表をHPに公開し、そこに記載されていた意見についてミーティングで取り上げた。)	100%	0%	0%	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか (HPに公開している。)	100%	0%	0%	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか (2024年11月時点において、できていない)	21%	7%	68%	・今後の検討課題の一つ ・今後、評価を受け改善していけるといいと思う
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか (2024年の実施例として、5月に子どものアセスメントとヨガの生かし方、6月の虐待防止研修会、理学療法士目線でのゆにつくの動的活動、感染予防研修、ESDM（超早期療育）研修など)	93%	7%	0%	・定期的に行っている
適切	9 担当職員により、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、各クラス内でのアセスメントツールを使用しているか	96%	4%	0%	・子どもの困りごとや特性、アレルギーなどや保護者のニーズを各クラスで把握している
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	96%	0%	0%	・その時の児童の様子や発達段階・課題点を考えて計画するよう努めている ・スタッフ同士話し合い、固定化されないよう行っています

な 支 援 の 提 供	13	月ごとに、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	96%	4%	0%	・週のねらいに沿った療育内容を考え提供できるよう努めている ・月案のねらいにそって設定している ・季節の行事などを取り入れながら工夫して行っています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・その日の状況に応じて、対応を変え集団活動を行うよう努めています
	15	支援を行う時までに職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	
	16	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	96%	4%	0%	・その日のうちに話すことが難しい場合もあるため、ミーティングやLineを活用し共有している。 ・十分な時間をとれない日もあるが、次の支援に生かせるよう話し合うようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	・毎回その日のうちに記録を書き、支援の改善に繋がるよう行っています
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	18	定期的にモニタリング（児童の様子を観察）を行い、放課後等デイサービスの療育の方針について見直しの必要性があるかどうかなどを相談しているか	100%	0%	0%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	89%	7%	0%	・把握できていない
	20	保護者や学校職員を通して、学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか (連携して知り得た情報は、各クラスLINEで情報共有を実施している)	100%	0%	0%	
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか (連携して知り得た情報は、各クラスLINEで情報共有を実施している)	100%	0%	0%	
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか (R6.11月に、ときわ児童発達センターの研修を受けている。)	100%	0%	0%	
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか (感染症対策のため、今は行っていない。)	0%	4%	96%	・今後行っていけるとよい ・他の事業所の動向をしらべつつも実行に向けて努力したい
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	96%	0%	0%	・できていることと同時に課題について話し合い、共に成長を見守る姿勢を示すようにしている
25	保護者の対応力の向上を図る観点から、面談時などに保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	79%	14%	4%	・相談に対し、その場だけのものにせず、スタッフ間でも話し合い、再び保護者に参考になるような助言につなげている ・把握していない	
	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか (契約時に説明しており、支援内容については定期的に説明を行っている。)	100%	0%	0%	
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	93%	4%	4%	・努力しているが、さらに保護者の力になれるよう研鑽を積みたいたいと考えている ・送迎時に伝えそびれてしまうことがあったので、そのようなことがないようにしていきたいです

保護者への説明等	28	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか (2025年は開催を考えている。)	11%	14%	75%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後行っていけるとよい</li> <li>・日時、担当などを決めて準備をしないと、限られた人員、施設スペースでは実行することが困難だと思われます</li> <li>・保護者同志での話し合える場があっても今後良いと思います</li> <li>・不明なため</li> </ul>
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力している。また、自分だけの判断にならぬよう、他のスタッフに助言をもらっている</li> <li>・何か連絡があった際はすぐに周知対応している</li> </ul>
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか (月1回、ゆにっく通信を発行している)	96%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信、行事予定は発信しているが、他把握できていないことがある気がする</li> </ul>
	31	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
	32	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	96%	0%	0%	
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	96%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルがないものがあるため、今後職員間で話し合い作成を検討する</li> <li>・避難場所や携帯が使えない時、どのようにしていくのか課題点があると思いました</li> <li>・万が一を考え、通信手段が使えなくなったときのことも考えても良いかもしれない</li> </ul>
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	93%	7%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に避難訓練を行っています</li> </ul>
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	89%	11%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートの先生方の研修機会が少ない</li> </ul>
	36	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか (支援計画に記載されており、契約時に説明を行っている)	96%	4%	0%	
	37	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか (アレルギーの有無は、契約時及び年1回確認を行っている。今のところ、アレルギーについて医師の指示を受けている児童はいない。)	96%	4%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心配な児童がおり、保護者とも連携に努めているが、医師、病院の受信に繋がっていない</li> <li>・兄妹など重度のアレルギーがあればお知らせして欲しい</li> </ul>
38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングで各クラスのヒヤリハット、事項報告をし、今後の対策について話している</li> <li>・月1回のMTで各クラスよりヒヤリハットがあった際に共有し防止につなげている</li> <li>・報告書を作成し、事例集とふたっつの間で常に見れるようにしています</li> </ul>	